

別記
第3号様式

京都府教育委員会教育長 様

令和5年3月16日

コミュニティ名 肢体不自由教育実践向上コミュニティ
代表者所属名 京都府立向日が丘支援学校
代表者職・氏名 教諭 加藤 亜希

京都府若手教員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 コミュニティ名

肢体不自由教育実践向上コミュニティ

2 研究テーマ

肢体不自由児童生徒の生きる力を育むための教科の視点を踏まえた授業づくり

3 研究の目的

学習指導要領の趣旨を踏まえ、肢体不自由のある児童生徒が主体的に社会と関わることができる「生きる力」を育むための授業づくりについて研究を深めたい。昨年度の研究成果を踏まえ、肢体不自由児童生徒の授業づくりにおいて、どのように教科の視点を踏まえ反映させていくか検討していきたい。また、様々な学校からのコミュニティ参加者による研究をととして各学校におけるよりよい授業づくりに貢献したい。

4 研究の成果と課題

「生きる力」を育むための授業づくりを充実させるために、各校の実践報告、研究協議をととして、「各教科等を合わせた指導」における単元構成の考え方について深め、主たる教科と様々な教科を組み合わせることで、単元が生活に生きる、また深い学びの姿を引き出す立体的な単元になることを確認した。

「各教科等を合わせた指導」の各教科の目標・内容の取り扱いについて着目

しながら授業づくりを行っているが、自立活動の目標・内容をどう設定し、評価していくかが課題として残った。

5 研究成果の波及方法

- ・校内でコミュニティ資料を回覧できるようにし、情報発信を行うと同時に、学級での授業づくりの悩みをコミュニティ活動内で報告し、それらに対するアイデア、情報提供等のフィードバックを行った。
- ・京都府教育委員会が企画する当該事業の報告会における発表をとおして、府内全域へ波及する。

6 研究（活動）実績*

年月	研究（活動）内容（具体的に記載）	活動場所
R4.6.27	コミュニティ発足会（自己紹介、研究内容・活動場所の確認）	京都府立丹波支援学校
R4.8.19	研究協議（向日が丘支援学校、丹波支援学校亀岡分校より実践報告・協議）	京都府立向日が丘支援学校
R4.11.24	研究協議（中丹支援学校より実践報告・協議、自立活動流れ図作成）	京都府立宇治支援学校
R5.1.23	研究協議（宇治支援学校、八幡支援学校より実践報告・協議、今年度のまとめ）	京都府立八幡支援学校